

## 序

予の無能を以てして、而も短日月間の視察に係るものを録し之を名けて伊犁紀行と曰ひ公然茲に刊行する固より僭越の謗を免れず。況んや予は一介の武弁、何等農商工の智識を有せざるに於てをや。然りと雖も此書中予の判断は或は過誤あるべきも其事實に至りては毫も欺くこと無きは予の特に明言するを憚からざる所なり

今や世界の風雲は東大陸を驅りて龍驤虎搏の地域と化せしめ西人の侵畧的大野心、占利的大飛躍は澎湃として岩礁に激する怒濤の如く清國全領土に瀰漫し來り颯々として巨屋を倒す颶風の如く所謂外交問題を掀翻し彪然たる老大國の前途をして